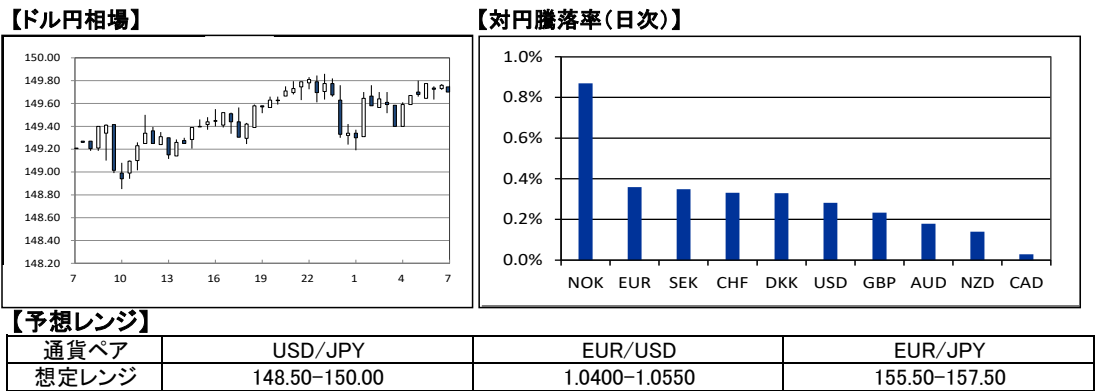


【昨日の市況概要】				公示仲値	-
	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	149.42	1.0473	156.35	1.2646	0.6369
SYD-NY High	149.86	1.0528	157.22	1.2690	0.6391
SYD-NY Low	148.85	1.0453	156.30	1.2633	0.6345
NY 5:00 PM	149.70	1.0468	157.18	1.2667	0.6350
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	43,461.21	33.19	日本2年債	-	-
NASDAQ	19,286.93	▲ 237.08	日本10年債	-	-
S&P	5,983.25	▲ 29.88	米国2年債	4.1704%	▲ 0.0286%
日経平均	-	-	米国5年債	4.2344%	▲ 0.0355%
TOPIX	-	-	米国10年債	4.3994%	▲ 0.0310%
シカゴ日経先物	38,040.00	▲ 115.00	独10年債	2.4695%	0.0070%
ロンドンFT	8,658.98	▲ 0.39	英10年債	4.5640%	▲ 0.0075%
DAX	22,425.93	138.37	豪10年債	4.4540%	▲ 0.0750%
ハンセン指数	23,341.61	▲ 136.31	USDJPY 1M Vol	10.77%	0.02%
上海総合	3,373.03	▲ 6.09	USDJPY 3M Vol	10.47%	▲ 0.03%
NY金	2,963.20	10.00	USDJPY 6M Vol	10.19%	▲ 0.12%
WTI	70.70	0.30	USDJPY 1M 25RR	▲ 1.50%	Yen Call Over
CRB指数	308.45	▲ 2.76	EURJPY 3M Vol	10.75%	▲ 0.02%
ドルインデックス	106.60	▲ 0.02	EURJPY 6M Vol	10.61%	▲ 0.01%

東京	アジア時間に149.42レベルでオープン。アジア株式の軟調な推移を横目にドル円は一時148.85まで下落するも、東京市場が休場の中149.50を背に小幅なレンジの中で推移し、149.44レベルで海外時間へ渡った。
ロンドン	円休日の中、USDJPYは149.44レベルで始まり、149.25から149.83の間で取引され、149.79レベルで米国に渡った。欧州連合(EU)の1月CPIは今朝、予想と一致した。前年同期比は2.5%、前月比は-0.3%、コアは2.7%となった。市場はほとんど反応しなかった。EURUSDは1.0509レベルで始まり、1.0461から1.0515の間で取引され、1.0469レベルで米国に渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は149円台半ばでスタート。東京市場が休場の中、148.85まで値を下げる場面もあったが、その後欧州株が下げ幅を縮小する動きに伴い円が売り戻され反発し、149.79でNYオープン。特段注目の経済指標の発表を予定していない中、午前中は米金利の低下や、米株の軟調な展開が重しとなり、149.19まで下落。しかし、その後米株の売り一巡を受け、149.80付近まで戻す。午後に発表された米2年債の入札結果は堅調な結果を受け、一時149.40付近まで売られるも、その後再度戻し、149.70レベルでクローズ。一方、海外市場のユーロドルは1.04台後半でスタート。米長期金利の低下に伴ったドル売り地合いから1.0528まで上昇するも、その後独2月IFO企業景況感指数が予想を下回った事を受け反落し、1.0469レベルでNYオープン。午前中は材料難の中、1.0470付近を挟んだ方向感乏しい推移が続く。午後はトランプ米大統領が対カナダとメキシコへの関税実施を巡り、「予定通り3月に発動する見通し」との発言を背景としたドル買いが上値を抑え、1.0468レベルでクローズ。

【昨日の指標等】						
Date	Time	Event		結果	予想	
2月24日	18:00	独	IFO企業景況感指数	2月	85.2	85.8
	18:00	独	IFO現況指数	2月	85	86.3
	18:00	独	IFO期待指数	2月	85.4	85
	19:00	欧	CPI(前年比/前月比)・確報	1月	2.5%/-0.3%	2.5%/-0.3%
	22:30	米	シカゴ連銀全米活動指数	1月	-0.03	-0.05
【本日の予定】						
Date	Time	Event		予想	前回	
2月25日	16:00	独	GDP(前期比)・確報	4Q	-0.2%	-0.2%
	18:20	米	ローガン・ダラス連銀総裁 講演	-	-	-
2月26日	00:00	米	コンファレンスボード 消費者信頼感	2月	102.5	104.1
	01:45	米	バーFRB副議長 講演	-	-	-
	03:00	米	バーキン・リッチモンド連銀総裁 講演	-	-	-



【マーケット・インプレッション】

先週末23日の海外市場におけるドル/円相場は下落した。欧州時間は150円台前半で小動きとなったが、NY時間に入ると、米2月サービス業PMIや米2月ミシガン大学消費者信頼感指数が予想比悪い結果となりドル売りが進行した。ドル/円は150円台前半から149円台に下落し、結局149円台前半でクローズした。また、週明け24日のドル/円相場は、東京休日の中、アジア時間に一時148円台に突入するも、買い戻しから再び149円台に戻した。海外時間もドル買いの流れなどからドル/円は149円台で堅調に推移したが、150円台に戻す勢いはなく、149円台後半でクローズした。本日のドル/円相場は上値重い推移が継続すると予想。昨日はドルが反発する場面が見られたが、米経済指標の結果が落ち込みを見せる中、また先週発表された本邦CPIも3ヶ月連続で上昇し日銀の追加利上げ期待も相俟って、基本的にはドル売り円買いの流れが継続すると考えている。本日は、NY時間に米2月コンファレンスボード消費者信頼感指数の発表が予定されており、予想通り前回比低下の結果となればドル売りが加速する契機となるか注目している。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなされるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。